

ホワイト・ジャック・プロジェクト第5弾  
ハピネス・アイと臨海メディカルサービスが統合  
～統合会社の社名は「エムスリーヘルスデザイン」、ホワイト・ジャック・プロジェクトの中心的な役割を担う～

エムスリー株式会社(本社: 東京都港区、代表取締役: 谷村 格、URL :<https://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」)は、疾病の発症前から健康状態を維持することを目的とした取り組み「ホワイト・ジャック・プロジェクト」の第5弾として、100%子会社である株式会社ハピネス・アイと株式会社臨海メディカルサービスを統合し、2023年3月1日に、「エムスリーヘルスデザイン株式会社」へ社名変更することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

## 「ホワイト・ジャック・プロジェクト」について

当社グループは、主たる事業ドメインとしてこれまで多くのサービスを展開してきた「疾病発症後の治療」に加え、重点領域を予防医療分野にも拡大することで、社会的要請の大きい課題である医療費削減をさらに川上から実現することを目指す取り組みを推進しており、エムスリーにおいて本取り組み全体を「ホワイト・ジャック・プロジェクト」と呼称しています。

本プロジェクトでは、第1弾として健診代行を行うハピネス・アイを、第2弾として健診の補助・運營業務を行う臨海メディカルサービスをそれぞれ子会社化しました。今回の第5弾では、両社が統合し、「ホワイト・ジャック・プロジェクト」についてさらに中心的な役割を担うこととなります。

## 2 社統合の背景と今後の取り組み

株式会社ハピネス・アイは、1985年の創業以来、「こころとからだのトータルヘルスケアサービス」の提供を通じて、働く人たちの健康を支えてきました。主力事業である健康診断事業は、企業の要望に応じて全国に500以上ある提携医療機関の紹介、健康診断の実施調整(受診予約)、結果処理までをトータルコーディネートしています。また、従業員健康管理クラウドサービス「ハピネスパートナーズ」は、全従業員の健康診断結果の一元管理が可能で、大企業を中心に導入が加速しています。

株式会社臨海メディカルサービスは、1991年の創業以来「健康診断の補助・運營業務及び超音波検査」の提供を通じて働く人の健康を支え、予防医学を普及してきました。

加えてエムスリーグループでは、健診や生活習慣データを用いて個々人の相対的な平均余命を科学的に予測し、その値を元に健康状態を数値化する新たなアプローチの健康指標スコアの「EBHS Life」、企業に所属する従業員とその家族を対象とした医療サポートサービスの「M3PSP」、企業向けにがんに関する基礎知識向上プログラムやがん検診受診率向上支援を行う「M3 がん防災プログラム」など、様々な健康経営分野のサービスを提供しています。

法令で定められた健康診断や産業保健のみならず、エムスリーグループの各種健康経営関連サービスをワンストップで提供できる体制を構築し、疾病の発症前の段階から健康を維持することを目的とした取り組み「ホワイト・ジャック・プロジェクト」をグループ内で推進する中心的な役割を担うことを目指し、2社の統合を行いエムスリーヘルスデザイン株式会社へと社名変更することといたしました。

これを契機とし「ホワイト・ジャック・プロジェクト」の取り組みをさらに推進し、「病気になってから治療を行うこと」にとどまらず、「そもそも病気になることをできるだけ予防する」ことで、エムスリーのミッションをより川上の段階から実現していくことを目指します。

今後も、エムスリーグループでは、「インターネットを活用し、健康で楽しく長生きする人を 1 人でも増やし、必要な医療コストを 1 円でも減らす」というミッションのもと、社会的なインパクトをもたらす医療課題の解決に貢献する取り組みを推進してまいります。

■エムスリーヘルスデザインの概要(2023年3月1日時点)

【所在地】 京都府京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町 638

【代表取締役】 有瀬 和徳

【事業内容】

- ・ 健康診断事業
- ・ ストレスチェックサービス
- ・ 産業保健サービス
- ・ 従業員健康管理クラウドサービス  
など